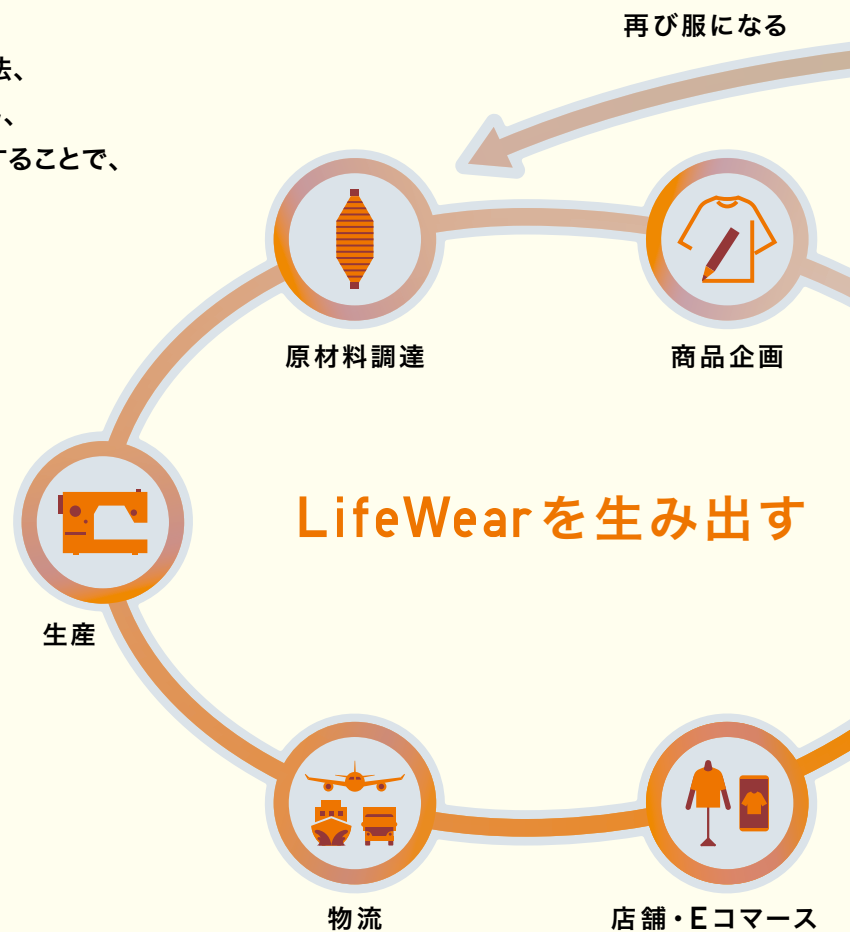


LifeWear II 「新しい産業」

商品としての服だけでなく、服の生産過程や販売方法、販売後の服にまで踏み込んだ「新しい産業」を創出し、これまでにないファッションのあり方を世界に提示することで、持続可能な社会に貢献していきます。



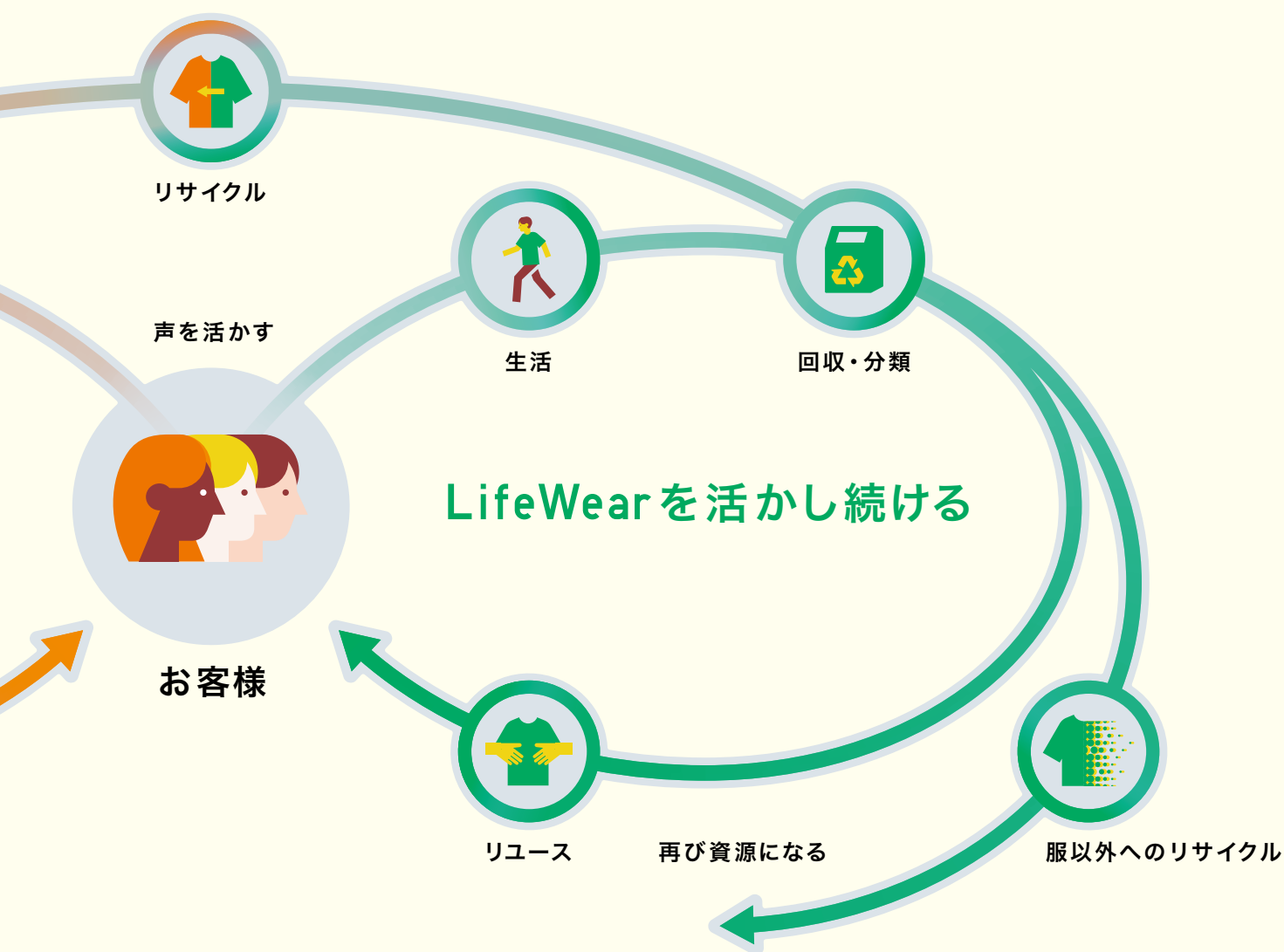
持続可能な社会に貢献するための
6つの重点領域 (マテリアリティ)

- 1 商品と販売を通じた新たな価値創造
- 2 サプライチェーンの人権・労働環境の尊重
- 3 環境への配慮
- 4 コミュニティとの共存・共栄
- 5 従業員の幸せ
- 6 正しい経営

サプライチェーンを持続可能な

あらゆる人の多様性を尊重する

ファーストリテイリングのめざす
新しい服のビジネスモデル



地球規模で価値を循環させる

コミュニティを支え社会に貢献する



お客様中心の服づくり

マテリアリティ1

マテリアリティ3

POINT



私たちの考え

商品企画に

お客様の声を反映

ユニクロの商品づくりで大切にしているのは、お客様からの声です。お客様が本当に求められている服を商品化し、シーズンごとに改良を重ねています。例えば、2024年8月期は、お客様の声をもとに、フィット感や着心地の向上に努めてきたブラトップへの支持が高まり、世界的なヒットとなりました。ウィメンズインナー部門全体への評価も、年々グローバルで上昇しています。近年では、日本に加え、海外の店舗やEコマース、カスタマーセンターに寄せられるご意見・ご要望も増えています。こうした声を即座に可視化し、商品化する仕組みもできつつあります。お客様が本当に必要とする商品づくりをさらに推進します。

長くご愛用いただける服づくり

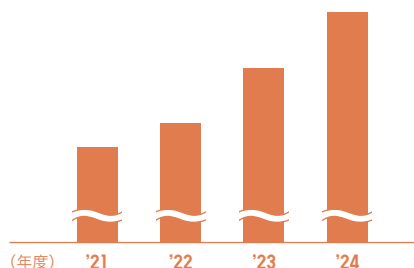
LifeWearは、2つのサステナビリティを大切にしています。まず、商品を長くご愛用いただけるように、時がたっても飽きず、廃れないデザインという情緒的なサステナビリティ。もう一つは、長く着用できる耐久性や着心地、リサイクル素材の使用など、物理的なサステナビリティです。LifeWearはこれらを踏まえて、改良と進化を重ね、長く愛されるマスターピース（究極の完成形）をめざしています。

例えば「エクストラファインメリノ」という素材を使用したセーターは、髪の毛の約1/4という極細の繊維に特殊な防縮加工を施したことで毛玉を抑え、美しさが長続きし、自宅の洗濯機でも気軽に洗える服に仕上がっています。

お客様・店舗の声
(2024年8月期)

約**3,140**万件

ウィメンズインナー部門
お客様レビュー点数の推移



EXTRA FINE MERINO



エクストラファインメリノを使用したセーターを、洗濯機で15回洗った*ところ、どちらが15回洗ったものかわからないほど、美しいままです。

*一般財団法人カケンテストセンターにて、JIS L1930の試験方法で、C形（バルセータ式）洗濯機を用いた試験
*洗濯後アイロンがけをしています。

環境負荷が低い素材への 切り替えが着実に進む

ファーストリテイリングでは、2030年8月期までに全使用素材の約50%を、リサイクル素材など温室効果ガス排出量の少ない素材へ切り替えることをめざし、商品の企画段階から、品質や機能性の改善と同じ位置づけで、これらの素材の利用や商品から商品へのリサイクルを検討しています。

2024年商品では、温室効果ガス排出量の少ない素材の使用割合は18.2%と着実に進捗し、特にポリエステルは47.4%に達しました。商品から商品へのリサイクルでは、お客様からご不要になったユニクロのダウン商品を回収し、ダウンとフェザーを取り出し、新たなダウン商品の素材として再活用する取り組みも継続しています。また、店舗で回収した商品（ポリエステル高混率素材）の一部を化学的にリサイクルしています。この素材は、2024年にフランスで開催された世界的スポーツ大会でユニクロが提供したスウェーデン選手団公式ウェアにも採用されました。

また、お客様により安心してご購入求めいただける商品をめざして、当社が定める「サステナブル素材」の再定義に着手しています。温室効果ガス排出量、水使用量、生物多様性、人権、動物愛護など素材の特性に応じて配慮すべき項目を定め、定性・定量の両面で基準に合致する素材を「サステナブル素材」とし、自社商品に採用すべき素材を明確にします。調達量の多い綿から取り組みを開始しており、早期にその他の素材にも広がっていきます。

リサイクル素材など
温室効果ガス排出量の
少ない素材の使用比率

2024年
8月期 **18.2%**
↓
2030年
8月期目標 **50.0%**

ポリエステル全使用量に対する
リサイクルポリエステル使用比率

2024年
8月期 **47.4%**



リサイクル素材を使用している商品のプライスタグには、その使用割合を記載しています。

*写真は一例

オンラインストア
リサイクル素材
商品一覧



INTERVIEW 1

「新しい価値をお届けしたい」という思いで、商品を企画

ユニクロの服を企画する上で、私たちは「どんな価値をお客様に届けたいか」を常に考えるようにしています。新しい価値を明確に訴求できた服は、長く愛されるロングセラーになっています。国や地域が違ってても、本質的に求められる価値は変わりません。お客様の声の一つずつ真剣に捉え、着心地の改善や機能の向上に努めています。例えば、10年以上販売しているUVカットメッシュパーカは、お客様の声を反映しながら毎シーズン改良を続け、2023年春夏から、防臭機能を付加し、ポケット仕様で改良したことで、売上がさらに拡大しました。お客様の声は、仕事のモチベーションにもつながります。私たちの届けたかった商品が、お客様に喜んでいただけることが、とてもうれしいです。



グローバルMD(マーチャンダイジング)部
部長

松崎 里美

WHAT IS PUFFTECH?

パフテックのもつ魅力をひもとく3つのキーワード

ユニクロでは、日々寄せられるお客様の声に耳を傾け、お客様を起点とした商品開発を実践しています。パフテックは、「綿抜けしにくく、軽いアウターが欲しい」というお客様の声から生まれた、次世代の高機能アウターです。自宅で手洗いができ、撥水機能も備えているため、現代の暮らしにフィットした一着です。

より詳しい情報をご覧いただけます



CUSTOMER VOICE

ダウンの良さはそのままに、重ね着している服に羽毛が付きにくいアウターがあるといいな。



CUSTOMER VOICE

さまざまなシーンで活躍する
軽くて暖かい
アウターが欲しい。



CUSTOMER VOICE

ダイヤ柄やブロック状のキルトのようなデザインが入ったアウターも、あるとうれしい。





KEYWORD

3D Ultra-Fine Hollow Fiber

軽くて暖かい、次世代の「機能性中綿」

「パフテック」という名称は、PUFF（膨らみ）とTECH（テクノロジー）を組み合わせたもの。東レ株式会社と共同で開発した、高機能な中綿を採用した軽くて暖かいアウターです。天然羽毛（ダウン）の構造を模したパネ状の化学繊維の中綿に、空気をより多くため込める独自の構造によって、高い断熱効果と保温性、軽さを実現しました。2024年秋冬は、機能性中綿の繊維構造をアップデートし、ユニクロ史上、最も軽く、暖かいパフテックが誕生しました。

KEYWORD

Easy Care

自宅で手洗ができる。お手入れ簡単

アウターは、一般的に汚れのお手入れがデリケートですが、パフテックは自宅で手洗いができます。中綿を使用しているため、ダウン商品のような羽毛抜けの心配が少なく、ダウンと比べ、水に触れても中綿のボリュームを損ないにくいです。手洗い時には、中綿が片寄らないように、押し洗いするのがポイント。ダウンより乾きやすく、夜に洗濯して干しても、翌朝には気持ちよく羽織ることができます*。

*乾燥条件は、ウィメンズの「パフテックコンパクトジャケット」、温度20℃×湿度65%の場合。



KEYWORD

Fits Modern Living

雨や雪に強く、動きやすい。
いつでも活躍するアウター

パフテックは、雨や霧など湿度90%以上の環境下でも保温性が下がりにくく、表生地に撥水機能も備えているため、急な小雨にも対応できます。朝晩冷え込む初秋から、小雪が舞う真冬、天候が変わりやすい春先まで、長い期間着用することができます。また、軽量でかさばりにくいため、暖房で汗ばむ真冬の電車内や、夏の終わりの冷房が効き過ぎたオフィスでも、重宝するアウターです。





信頼が支える持続的な成長

マテリアリティ2

マテリアリティ3

POINT



私たちの考え

生産パートナーとの信頼関係をもとに、持続的なサプライチェーンを構築

世界中でお客様に最も愛されるNo.1ブランドになるためには、事業成長と持続可能性を両立しながら、安定的かつ機動的に生産できるサプライチェーンの構築が必要不可欠です。

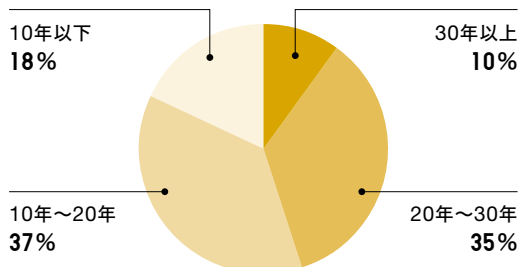
この体制づくりを支えるのは、素材生産や縫製を委託している生産パートナーとの強固な信頼関係です。私たちは世界中のお客様に、「本当に良い服」をお届けするために、「高品質な商品を正しいプロセスで生産する」ことを、共通の理念としています。この理念や価値観を共有できる取引先工場とは、長年にわたる取引の中でWin-Winの関係を築き、共に成長してきました。2023年から、このパートナーシップをサプライチェーンの最上流の原材料調達まで拡大することを推進しています。すべての工程で、品質・コストの安定化、リードタイムの改善、環境負荷の低減、人権の尊重、労働環境の向上に継続的に

取り組んでいきます。

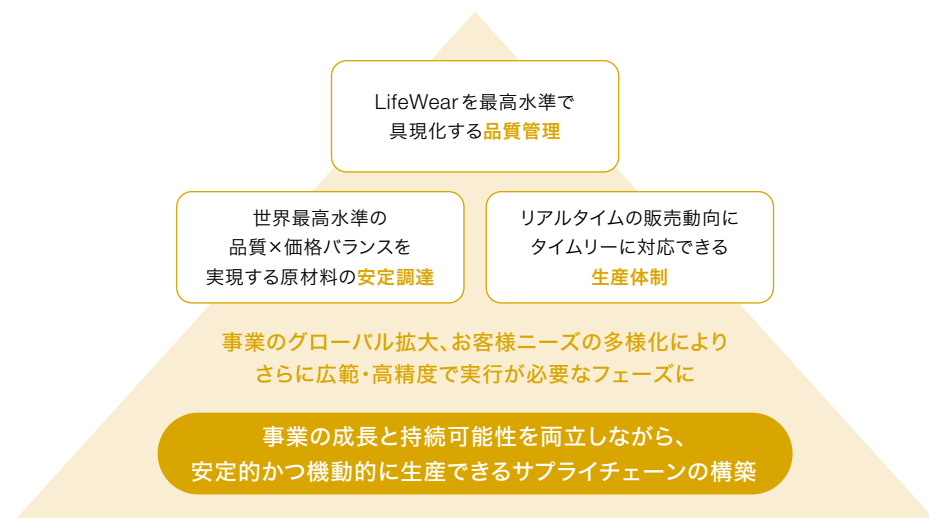
「お客様が本当に必要とする商品を、必要な時に、必要な量だけつくる。その過程において、人や環境への負荷を最小化する」ビジネスモデルを実現したいと考えています。これからも、成長するとともに、社会にも貢献できる事業のあり方をめざします。

ユニクロのサプライヤー上位40社 取引期間

当社の委託先縫製工場を運営するサプライヤーのほぼすべてに当たる上位40社を対象



ファーストリテイリングがめざす持続可能なサプライチェーン



INTERVIEW 2

有明プロジェクトでサプライチェーンを進化させる

私たちがめざす情報製造小売業は、お客様を起点に、「本当に求められている商品を、必要なタイミングで、必要な量だけつくり・運び・販売すること」をめざしています。これにより、グローバルに事業を拡大すると同時に、サプライチェーンのあらゆる無駄をなくし、環境負荷の低減につなげることができると考えています。

具体的には、1) お客様の声を起点にした商品開発 (P50-53) を進めてきたことにより、商品の改良はもちろん、ライフスタイルの変化を捉えた新商品の開発につながっています。2) 刻々と変わる販売状況や、店舗・お客様からの声をもとに、アルゴリズムなどによる需要予測を活用し、SKU単位で販売計画を精緻化しています。その販売計画と生産計画を常時連動させ、生産数量を週次で調整することで、在庫の適正化が着実に進んでいます。3) 生産パートナーと、生産計画・進捗を互いに共有し、素材や生産キャパシティを効果的に準備することで、生産リードタイムが短縮。輸送パートナーとの協業により、輸送リードタイムも短縮しており、より機動的なサプライチェーンマネジメント体制の構築につながっています。4) 自動化倉庫の導入を進めていることで、店舗に必要な商品をSKU単位で、必要な量だけ配送する物流オペレーションも確立しつつあります。

これらの取り組みが、無駄な在庫を削減しながら、欠品の抑制につながっています。我々がめざす水準はまだ高いため、生産から物流・倉庫・販売を一貫して自社で管理できる強みを活かし、ここからさらに取り組みを加速していきます。



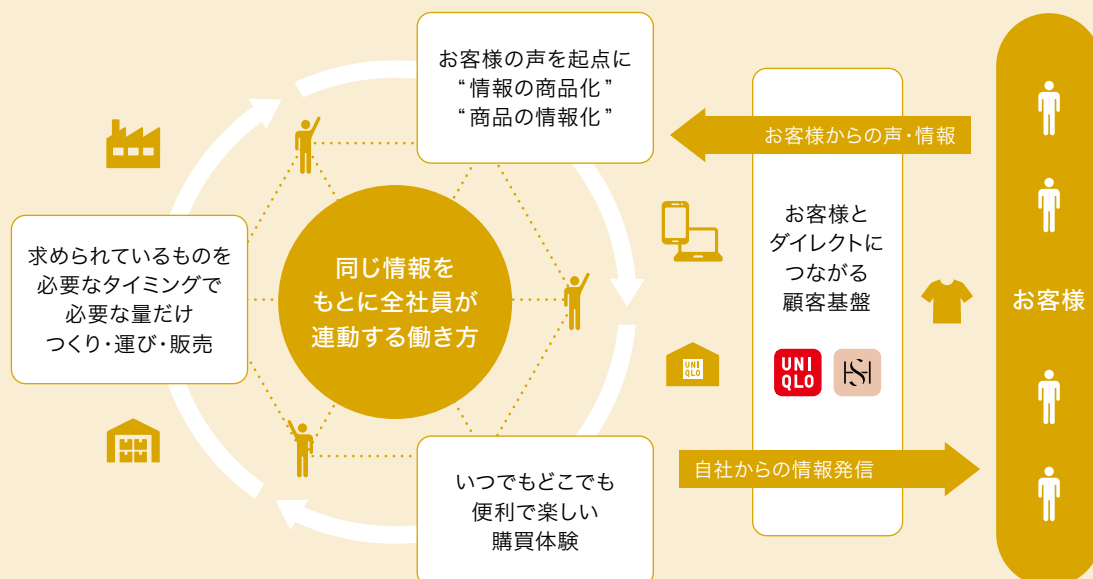
ファーストリテイリンググループ執行役員
有明プロジェクト担当

田中 大



効率的なサプライチェーンを支える自動化倉庫

お客様を起点に、商品開発とサプライチェーンを変革





ユニクロの取引先のダウン商品製造工場

生産パートナー
リストの一覧は
こちら



トレーサビリティを追求し、
サプライチェーンの透明性を高める

ファーストリテイリングは、取引先工場との強固なパートナーシップのもと、原材料調達から縫製までの全工程に、品質、調達、生産体制、環境・人権対応の自社基準を適用し、自社でサプライチェーン全体を管理することをめざしています。サプライチェーンの上流工程まで、自社の価値観に共感し、同じ基準に基づいて生産していただける工場のみと直接的な関係を構築していきます。ユニクロでは、2023年春夏商品より、すべての商品の原産国から縫製工場までの全工程の商流を把握しています。綿商品では、価値観の一致する紡績工場のみとお取引を行っており、商品の企画段階から綿の産地や品質を指定、トレースできる体制を構築しました。2024年8月期は、この取り組みをウールやカシミアにも拡大。今後は全素材への展開をめざします。

モニタリングを強化し、持続可能なサプライチェーンを構築

ファーストリテイリングは、サプライチェーンにおける人権や労働環境を守るため、取引先工場に対し、「生産パートナーコードオブコンダクト」の遵守を要請し、それに基づく労働環境モニタリングを2004年から毎年実施しています。労働環境モニタリングでは、人権侵害、労働環境、環境保全などの項目について、第三者機関の監査などによる確認を行います。結果は、各工場の経営者にフィードバックされ、課題がある場合は、工場と共に課題の解決と再発防止に取り組

んでいます。2023年からは、従来の縫製工場と素材工場に加えて、主要な紡績工場もモニタリングの対象とし、サプライチェーンの人権の尊重や労働環境の改善の取り組みをさらに強化しています。縫製工場の2024年8月期のモニタリングでは、児童労働や強制労働など、最も深刻な事象に当たるゼロトレランス評価は6工場と、前年に比べて減少しました。この6工場とは、改善や再発防止について議論を重ね、うち3工場では、すでに改善されたことを確認しています。

縫製工場の労働環境モニタリングの結果(取引先工場の評価)

評価	主な内容	当社グループ(うち、ユニクロ)	
		2023年8月期	2024年8月期
重大項目・ ゼロトレランスなし	重大項目やゼロトレランスは認められなかった	417 (234)	422 (280)
重大項目 あり	重大なコードオブコンダクト違反 例：残業代の支払い不足、法定休暇を付与していない、休業中の賃金不払い、社会保険料の未納付、長時間労働、法令に従った休憩を与えていない、雇用契約の未締結や内容不備など	85 (38)	63 (34)
ゼロトレランス あり	極めて重大なコードオブコンダクト違反 例：児童労働、強制労働、抑圧とハラスメント、差別、建物の安全性欠如、組合結成の妨害、ストライキの不当な解散、苦情を申し立てた従業員に対する報復行為、賃金の不払い、最低賃金未達など	14 (5)	6 (1)

温室効果ガス排出量の削減が 順調に進捗

ファーストリテイリングは、2050年の温室効果ガス（GHG）排出量ネットゼロの目標達成に向けて、自社の店舗やサプライチェーンにおけるGHG排出量削減を推進しています。2030年8月期までの目標として、店舗や主要オフィスは、2019年8月期比でGHG排出量を90%削減、ユニクロとジーユーの商品の原材料生産・素材生産・縫製に関わる排出量は、同20%削減することを掲げています。この目標は、国際機関 SBT イニシアティブより「SBT (Science-Based Targets)」として認定されています。



国際的な非営利団体CDPにより、気候変動分野における高い透明性とリーダーシップが評価され、最高評価「Aリスト」企業に2年連続で選出されました。



取引先工場では、太陽光発電の利用を推進

SCOPE 1,2



グローバルで再生可能 エネルギーの導入を推進

2023年8月期の自社の店舗・オフィスでのGHG排出量は、2019年8月期比で69.4%の削減となりました。自社の店舗・オフィスでは、LED照明の導入や時間外の利用制御、設定した温度に自動調節する空調制御システムの導入などにより、省エネルギーに取り組んでいます。また、2030年8月期までに、自社の使用電力における実質再生可能エネルギー100%をめざし、各国で調達を進めたことで、2023年8月期は67.6%まで上昇しました。欧州の一部の国やカナダ、シンガポールでは、100%を達成しています。

SCOPE 3

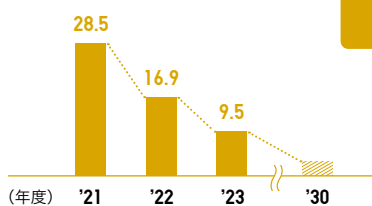


取引先工場と密に連携し、 温室効果ガスの削減をサポート

2023年8月期のサプライチェーンのGHG排出量は、2019年8月期比で10.0%の削減と、目標達成に向けて順調に進捗しています。ユニクロとジーユーの生産量の約9割を占める主要工場を対象に、省エネ施策や脱石炭、再生可能エネルギーの導入を推進。工場とは、計画の進捗確認や見直しを3カ月ごとに行い、課題の解決まで自社の社員が入り込み、密な連携を継続しています。工場のニーズに応じて、石炭ボイラーから切り替えるための取引先の紹介や、必要な資金の調達先の紹介など、課題解決のサポートを実施しています。

GHG 排出量の推移

(単位: 万 t-CO₂e)



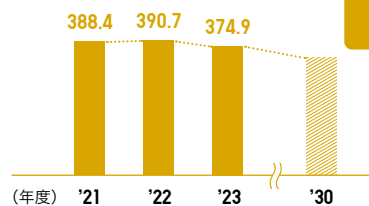
スコープ2はマーケットベースで集計

2030年8月期
温室効果ガス
排出量削減目標

90%削減
(2019年8月期比)

GHG 排出量の推移

(単位: 万 t-CO₂e)



スコープ3はユニクロとジーユー商品の原材料生産・素材生産・縫製に関わる排出量が対象

2030年8月期
温室効果ガス
排出量削減目標

20%削減
(2019年8月期比)



服を捨てない社会の実現

マテリアリティ1

マテリアリティ3

マテリアリティ4

POINT



私たちの考え

LifeWearを長く活かし続ける 取り組みを推進

サステナビリティに対する法規制や意識の高まりは、私たちにとってチャンスだと捉えています。当社はやむを得ず在庫として残った商品は、翌シーズン以降に継続して販売することで、廃棄しない方針を掲げています。また、販売後の服にも責任をもち、リユース、リサイクルを通して、服を長く活かし続けることに取り組んでいます。高品質でベーシックなデザインのLifeWearだからこそ、「服を捨てない社会」をめざしていけると考えています。

全商品のリユースやリサイクルで、 循環型の事業モデルをめざす

REUSE：2006年から不要となった服は回収し、難民キャンプや被災地への緊急災害支援など、世界中の服を必要としている人々にお届けしています。2023年からは、「UNIQLO 古着プロジェクト」も開始しました。

RECYCLE：「服から服へのリサイクル」として、2020年から、リサイクルダウンを販売しています。「服以外へのリサイクル」では、再利用できない服を建物の断熱材や自動車用防音材などの資材として活用しています。

REDUCE：2022年から「RE.UNIQLO STUDIO」を国内外の店舗に設置し、服のリペア、リメイクサービスを提供しています。服の循環に取り組むことで、商品のライフサイクルを通じて余分な廃棄物、温室効果ガス排出量、資源使用量の削減をめざしています。

REDUCE

廃棄を減らす

服のリペア、リメイクを提供する「RE.UNIQLO STUDIO」。
オンラインストアでは、服を長く着続けるための
お手入れ方法を動画で紹介。



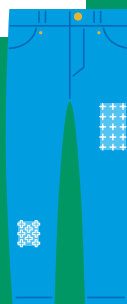
RE.UNIQLO STUDIO



商品のお手入れ紹介動画



RE.UNIQLO STUDIO



より詳しい情報を
ご覧いただけます



RECYCLE

服から服へのリサイクル

回収した商品からダウンとフェザーを取り出し、
新たなダウン商品として再生。
回収した商品の一部(ポリエステル)を、
化学的にリサイクルする取り組みにも着手しました。



再生したダウンとフェザーを使用した、
リサイクルハイブリッドダウンジャケット

回収/仕分け

お客様がご不要になった服を、
各店舗に設置しているRE.UNIQLO回収ボックスで回収。
リユースできるものと、リサイクルできるものに仕分けします。

RECYCLE

服以外へのリサイクル

回収した服のうち、服としてリユースできないものは、
建物に使われる断熱材や自動車用防音材などに
生まれ変わります。



再び資源へ

自動車用防音材

REUSE

長く使う

そのまま活用できる服は、寄贈先のニーズに応じて、
細かく分類してお届けしています。2023年には
古着販売のプロジェクトも立ち上げました。



難民支援



古着販売



服のもつ、あらゆる可能性を引き出すRE.UNIQLO STUDIO

RE.UNIQLO STUDIO(リ・ユニクロ スタジオ)では、リペアやリメイクの有料サービスを提供し、服を長く着続けていただくためのお手伝いをしています。その始まりは2021年8月、ドイツのベルリンにあるユニクロ店舗で、お客様と販売員が行った服のアップサイクルのワークショップでした。

お客様からご好評をいただいたことで、世界各地の店舗に、リペアやリメイクのサービスが広がり、現在(2024年10月末)は、22の国・地域で51店舗まで拡大しました。穴あき補修やボタン交換など基本的なリペアサービスだけでなく、日本の伝統的な刺し子技術を用いて愛着のある服に新しい命を吹き込み、長く活かし続ける取り組みは、サステナビリティの観点からも注目を集めています。規格外などで販売でき

ない服をアップサイクルして、一点物に仕上げるリメイクサービスも人気です。

リペアやリメイクにまつわる情報提供や啓発活動にも取り組んでいます。2024年10月の国際リペアデーでは、世界8の国・地域のRE.UNIQLO STUDIOにて、服のリペアやお手入れ方法、アップサイクルの方法をお客様に身近に感じていただくためのイベントやワークショップを開催しました。

服を大切に着続けることが、当たり前になる世界をめざして、今後も取り組みを加速していきます。



RE.UNIQLO STUDIO
設置店舗

(2024年10月末)
22の国と地域 **51** 店舗

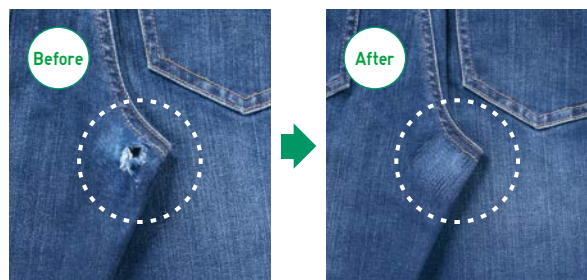
(2023年10月末)
16の国と地域 **35** 店舗

↑

ドイツにあるユニクロのグローバル旗艦店「ユニクロ タウンセンター店」のRE.UNIQLO STUDIO。この店舗でのワークショップがきっかけとなり、世界規模の取り組みに育ちました。

REPAIR リペア

愛着のある服をいつまでも大切に着ていただくために、傷んだ箇所を丁寧に修理する。



ダウンの破れ、ニットの穴、ジーンズの股ずれなどダメージを補修します。

REMAKE リメイク

お手持ちのユニクロを新しいアイテムに作り替えたり、自分好みにカスタマイズする。



イニシャルやワンポイントなど、カスタマイズ刺繍が可能。

新しい価値をもった服へ。 UNIQLO 古着プロジェクト

ユニクロは、循環型社会をめざす取り組み「RE.UNIQLO」の一環として、2023年に「UNIQLO 古着プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは、全国の店舗に設置したRE.UNIQLO回収ボックスなどから集めた服を丁寧に洗濯、染め直しを行い、新しい価値をもった服としてお客様に販売する試みです。

2023年10月、トライアル第1弾として、原宿店で12日間限定のポップアップストアをオープンしました。想定を上回る人数のお客様がご来店し、一つひとつ表情が異なる商品から、お気に入りの一着を見つける、古着ならではの服との向き合い方を体感いただきました。お客様からは、「商品がおしゃれで、古さを感じない」「古着でも状態が良く、品質に安心感がある」「染め加工商品のクオリティが高い」といったポジティブな評価を多くいただきました。

好評を受け、天神店、世田谷千歳台店、UNIQLO PARK 横浜ベイサイド店、前橋南インター店でもトライアル販売を実施。今後も取り組みを発展させていく予定です。

古着は、コーディネートにアクセントを加えるだけでなく、服の廃棄を減らすという大切な役割も担っています。ベーシックで高品質なLifeWearだからこそ、世代を超えてご愛用いただけると考えています。サプライチェーンの確立に課題はまだ多くありますが、一着の服と、より長くお付き合いいただくために、今後も挑戦を続けていきます。



原宿店で開催したポップアップストア

染めてリメイクした古着



服の新たな表情を引き出す
「オーバーダイ」



丁寧に洗濯された「ウォッシュ仕上げ」

洗濯済みのリユース古着



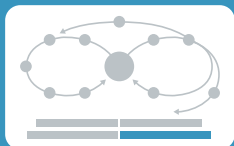
INTERVIEW 3

ユニクロならではの循環経済を、スケールアップしていきたい

欧州のお客様は、愛着のある服を長く着続けることを大切にしています。RE.UNIQLO STUDIOは、欧州のお客様の声を受けて始まり、現在は世界中に広がっています。私は、その立ち上げから携わっていますが、事業の一環として、活動が拡大しつつあることは、お客様から高く評価されています。サステナビリティの推進には、あらゆるステークホルダーの関与が必要です。私たちが一歩ずつ前進していくことが、社会への刺激になり、お客様と共により大きな行動変容を生み出したいと思います。古着市場は、ますます拡大すると言われています。今後は、古着のトライアル販売をさらに拡大し、循環経済の確立をめざしたいです。



UNIQLO EUROPE LIMITED
サステナビリティ部 リーダー
マリア・サモト・レドゥ



服のチカラで世界を笑顔に

マテリアリティ1 マテリアリティ4

POINT



私たちの考え

持続的な事業成長には、地域社会の平和と安定が不可欠

国際社会は今、貧困、難民問題、環境負荷の増大、テロ、地域紛争など、数多くの課題に直面していますが、各地域の経済状況や社会情勢が安定していなければ、小売業は成り立ちません。生産拠点も同様です。私たちは、グローバルに事業を展開する企業として、自社がもつ店舗・人材・商品・ノウハウなどを活用し、社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。特に、難民や貧困などの困難な状況に置かれている人々の支援、地域社会の環境保護・保全活動、若者の教育と社会参加の機会創出、緊急災害支援、

スポーツや文化の発展への貢献などを注力領域として、取り組みを加速しています。

地域のニーズや課題を理解し、解決に向けた具体的なアクションを実行するために、サステナビリティ担当者を各国・各地域に配置しています。また、同じ志をもつ企業・団体・個人とパートナーシップを組み、持続可能な社会貢献活動を実施しています。

服の産業は平和産業です。LifeWearを通して、人々の暮らしをより豊かに、楽しく、快適にすることが、ファーストリテイリングの使命です。

多角的な難民支援を推進

ファーストリテイリングは、2006年から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と連携し、世界の難民・国内避難民へ衣料支援を行ってきました。2011年に、世界の難民問題の解決により包括的に寄与するため、UNHCRとのグローバルパートナーシップを締結、2023年にはこれをさらに強化しました。

当社は、「緊急支援」「衣料支援」「自立支援」「雇用支援」の4つの軸で難民を支援しています。紛争や災害によって難民となった方々への「緊急支援」や、RE.UNIQLOで回収した衣料を難民キャンプなどへ寄贈する「衣料支援」では、これまでに累計約5,897万点を寄贈しました。「自立支援」は、難民の方々が自立した生活を取り戻すための重要な活動です。2022年からロヒンギャ難民女性の自立支援プロジェクトをUNHCRと共に立ち上げ、難民女性に対し、縫製技術の研修と有償ボランティアの機会を提供しています。「雇用支援」では、日本、欧米のユニクロ店舗などで難民を雇用し、安定して長く働くための研修を行っています。



回収衣料の寄贈点数*
(2006年～2024年8月の累計)

約**5,897**万点

*一部、支援要請に応じて難民以外の受益者も含む



バングラデシュ コックスバザールにある難民キャンプに、UNHCRと共同で5つの縫製センターを修繕・設立。そこで難民女性は生理用品を生産し、収入を得ています。

平和を願う

チャリティTシャツ プロジェクト

PEACE FOR ALL は、「世界の平和を願ってアクションする」というユニクロの想いから、2022年に始動したプロジェクトです。このユニクロの想いに賛同した著名人にボランティアで参加いただき、平和への願いを込めてデザインしたTシャツを発表。これまでに安藤忠雄氏、ヴィム・ヴェンダース氏、KAWS氏、村上春樹氏など計42組が参加し、全44柄のTシャツを販売しています(2024年12月末時点)。その利益の全額(1枚当たり販売金額の20%相当)を、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、セーブ・ザ・チルドレン、プラン・インターナショナルの3団体に寄付しています。2024年11月末時点の寄付額は、18億円以上。緊急人道支援などの国際的な活動に役立てています。

2024年9月には、国際的な写真家集団「マグナム・フォト」が参加し、新たなコレクションを発売しました。また、この一環として、「マグナム・フォト」の写真家による写真展をロンドン、東京、ニューヨークなど、世界の10都市で開催しました。プロジェクトの寄付金で実施している支援活動や、支援している国の人々の生活風景を撮影し、紹介しました。写真を通して、「Tシャツを買って、着る」というアクションから集まった寄付金が、世界のどこで、どのように役立てられているかを伝えました。

世界を良い方向へ変えていくために、これからも PEACE FOR ALL プロジェクトを推進します。

PEACE FOR ALL



CRISTINA DE MIDDEL

Tシャツ販売による寄付金総額
(プロジェクト開始から2024年11月末時点)

1,883,684,400 円

世界での総販売枚数 6,278,948 枚

より詳しい情報をご覧いただけます



INTERVIEW 4

世界最大の課題に真正面から取り組む

15年前に4,300万人だった難民・国内避難民は、今は1億2,000万人を超え、世界最大の課題の一つです。私たちは世界中の企業のなかでも、最大規模の支援を継続してきました。衣料や金銭的支援に加え、自立支援も行うことで、難民を取り巻く環境に好循環が生まれています。ロヒンギャ難民女性を対象とした自立支援プロジェクトでは、PEACE FOR ALLの寄付金の一部が充てられています。これまでUNHCRと共同で5つの生産センターを修繕・設立し、570名の難民女性が縫製技術トレーニングを受講、その技術を活かして生活必需品を生産することで、収入を得られるようになりました。こうした支援活動がつながり、難民自身が経済的・社会的に自立し、新たな生活基盤を構築していけることをめざしています。



株式会社ファーストリテイリング 取締役
グループ上席執行役員

柳井 康治



UNIQLO NEXT GENERATION DEVELOPMENT PROGRAM

UNIQLO 次世代育成プログラム

ユニクロは、未来を担う若い世代の育成に貢献するために、ユニクロ店舗での職場体験、服のリサイクルについて考える出張授業、スポーツ、アートに触れる機会など、さまざまな学びの場を提供しています。その一つとして、ユニクロのグローバルブランドアンバサダーをはじめとする世界の一流アスリートや、団体と連携し、スポーツを通じて未来を担う次世代の子どもたちの成長を促す「UNIQLO Next Generation Development Program」を推進しています。

子どもたちが、各競技を極めた一流アスリートと交流し、前向きに力強く生きるヒントを得ながら、持続可能な未来の担い手として成長できるよう、スポーツ競技の指導と合わせてサステナビリティをテーマにした教室も開催しています。これからも多彩な活動を展開し、世界中の子どもたちを応援します。

グローバルブランドアンバサダーとの具体的な取り組みについてはこちら



ユニクロ グローバルブランドアンバサダー

SHINGO KUNIEDA & GORDON REID

国枝慎吾 & ゴードン・リード

ITF UNIQLO
車いすテニスクリニック
with 国枝慎吾&ゴードン・リード

2023年4月に福岡県で開催された、次世代の車いすテニス選手を応援するテニスクリニック。ジュニア選手14人に両選手が指導。技術に加え、練習での心掛けや試合への臨み方などもアドバイスしました。



ユニクロ グローバルブランドアンバサダー

AYUMU HIRANO

平野歩夢

UNIQLO LifeWear Day 2023
with Ayumu Hirano

2023年3月に山形県で開催したイベントでは、平野選手がこれまで培ってきたスノーボードの技術や心構えを子どもたちに伝えると同時に、子どもたちは気候変動の雪山への影響についても学びました。



ユニクロ グローバルブランドアンバサダー

ROGER FEDERER

ロジャー・フェデラー

Around the World
with Roger Federer

2023年8月のニューヨークでの開催を皮切りに、同年10月に上海、そして2024年5月にはパリ郊外で、アート、テニス、カルチャーをテーマにした、若い世代を育成するイベントを実施しています。



ATSUTO UCHIDA

内田篤人

JFAユニクロサッカーキッズ

2003年より、6歳以下の未就学児向けのミニサッカーフェスティバル「JFAユニクロサッカーキッズ」を日本各地で実施。2014年以降は海外でも開催しており、延べ30万人以上の子どもたちが参加しています。



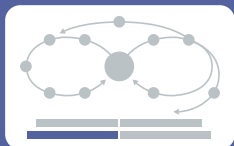
ユニクロ グローバルブランドアンバサダー

ADAM SCOTT

アダム・スコット

UNIQLO Adam Scott Junior Championship

ユニクロがアメリカジュニアゴルフ協会(AJGA)に協賛して、アダム・スコット選手と共に開催するジュニアゴルフ大会。2022年にスタートし、延べ3回開催、234名のジュニア選手が参加しました。



個の成長が企業の成長

マテリアリティ5

POINT



私たちの考え

世界中で活躍する従業員が、成長の原動力

企業活動の主役は人です。ファーストリテイリングは、「グローバルワン・全員経営」の方針のもと、すべての従業員に対して成長機会を提供し、多様な人材が主役となって能力を発揮できる環境づくりに努めています。

FAST RETAILING WAY (FRグループ企業理念) のなかでも、共有すべき価値観として、「個の尊重、会社と個人の成長」を掲げています。従業員一人ひとりが仕事を通じてプロフェッショナルな能力を高め、多様性が確保された環境でいきいきと働くことで、個人の成長が会社の成長につながることを

めざしています。これを推進するために、従業員エンゲージメント方針を策定し、「機会均等と多様性の推進」「人材確保と育成」「従業員の健康と安心・安全な職場環境」を柱として取り組みを強化しています。

今後、グローバルでさらに事業成長するために、最も重要なのは、人材への継続的な投資です。各国・各地域の経営者の発掘と成長を後押ししながら、世界各地の店舗を支える店長や販売員の育成に注力していきます。

ダイバーシティ&インクルージョンを推進

ファーストリテイリングでは、世界中で約11万人の従業員が働いています。ダイバーシティ推進チームが中心となり、コミュニケーションに関するアンケートや従業員満足度調査で、多様性に関する課題の把握と実効性のある対策に取り組んでいます。「ジェンダー平等」の取り組みでは、従業員がライフステージに合わせた働き方を選択し、キャリア形成できるように、国や地域の実情に合わせた施策を推進。日本では、女性従業員が活躍できる環境を推進するため、人事制度の改革やメンターによるサポートなどを実施しています。2024年8月期のファーストリテイリンググループの全管理職に占める女性の割合は46.1%と、前期比1.4ポイント上昇しました。

「Global One Team」を掲げ、駐在員や本部における外国籍従業員が、自身の能力を最大限に発揮できるよう、コミュニケーションガイドラインの策定など、環境づくりも進めています。国内外の管理職に占める外国人比率は、2024年8月期で55.5%とグローバルでの事業成長に伴い、拡大しています。



ファーストリテイリング
グループの全従業員における
女性管理職比率*

2024年
8月期

46.1%



2030年
8月期目標

50.0%

*管理職は、営業部ではブロックリーダーとエリアマネージャー、一定グレード以上の店長、本部では執行役員、部長、リーダーを指しています。

世界で活躍できる「経営者」を育成

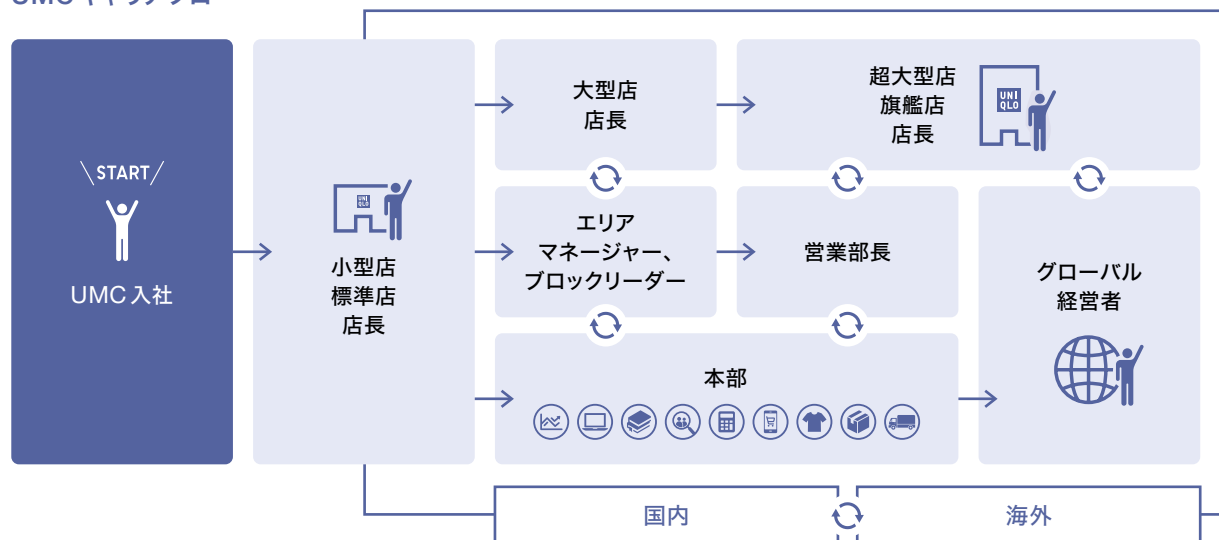
ファーストリテイリングでは、多様な人材の採用と育成に力を入れています。その軸となるのが、UMC (UNIQLO Management Candidate) という、ユニクロ独自の将来の経営幹部候補者を育成するための制度です。

UMCとして入社する人材は、まず店舗の販売員や店長を経験し、個店の販売計画の立案や在庫管理、人材マネジメントなど、経営者としての基本を身に付けます。より大きな店舗の経営や、本部の機能部署、さらに海外の本部機能や店長なども経験します。年齢に関係なく、それぞれの適性

や志向に合わせて育成を行っています。店舗だけでなく、本部の機能部門で全社課題を解決する経験や、国境を越えた異動を通じて、慣れない環境で直面した壁を乗り越える経験を積むことで、より視野、視座の高い経営者として、グローバルでの活躍の幅が広がります。

現在、UMC出身者を中心に約500人の経営幹部候補が育っています。経営幹部として育った人材が、次の世代を育成するという良い循環が生まれることで、グローバル全体での人材の厚みが増しています。

UMCキャリアフロー



CAREERS



Alessandro Dudech

ユニクロ 英国
COO

CAREER

2012 UMC (英国)
2014 店長 (ドイツ)
2017 エリアマネージャー (英国)
2019 エリアマネージャー (イタリア)
2021 COO (イタリア)
2022 COO (英国)

インタビューを
ご覧いただけます



Nacharee Louvre Chiraphatcharawat

ユニクロ タイ
セントラルワールド店 店長
営業部

CAREER

2017 UMC (タイ)
2018 店長 (タイ)
2021 エリアマネージャー (タイ)
2022 店長 (日本)
2023 ブロックリーダー (タイ)
2024 店長 (タイ)

インタビューを
ご覧いただけます



Meaghan McDonald

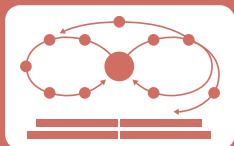
ユニクロ 米国
ガレリアダラス店 店長
営業部

CAREER

2022 UMC (米国)
2023 店長 (米国)

インタビューを
ご覧いただけます





正しい経営の追求

マテリアリティ6

POINT



私たちの考え

取締役会の独立性を高めながら、監督機能を強化

ファーストリテイリングは、「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」を企業理念に掲げ、世界で最も愛されるNo.1ブランドになることをめざし、事業の拡大とサステナビリティの取り組みを一体で強化しています。その実現のために、当社では実効性のあるコーポレートガバナンス体制の構築に努めています。

監査役制度を基礎とし、取締役の過半数を社外取締役とすることで、取締役会の独立性を高めるとともに、監督機能を強化しています。また、執行役員制度の導入により、経営の意思決定と業務執行の機能の分離を

図り、迅速な経営判断・業務執行を行っています。

取締役会の機能を補完するために、人事委員会、開示委員会、IT投資委員会、コードオブコンダクト委員会、企業取引倫理委員会、リスクマネジメント委員会、指名報酬アドバイザー委員会、人権委員会を設け、それぞれの委員会の目的を果たすべく、迅速でオープンな討議・決定を行っています。また、事業と一体でサステナビリティ活動を推進していくために、サステナビリティ委員会も設置しています。

社外取締役インタビュー

多様な観点から提言し、成長に貢献

当社は、海外ユニクロ事業の成長が著しく、連結に占める売上構成比は約55%（2024年8月期）と、すでに国内ユニクロ事業を超えています。今後の課題は、真のグローバル化です。現地で採用した社員を育成し、マネジメントを任せられる体制づくりが急務です。当社の企業文化や理念を深く理解した上で、現地市場の事情なども踏まえた経営を実行できる人材を育成し、こうした人材が現地採用の社員を育てていくという好循環が、売上を10兆円規模に成長させる原動力になると思います。

高い機能性をもち、快適で長く着られるLifeWearのコンセプトは、サステナビリティを促進する概念そのものと言えます。実際、循環型商品の開発や人権・労働環境が守られたサプライチェーンの構築など、非常に先進的な取り組みを実践している企業です。私が委員を務めるサステナビリティ委員会では、サステナビリティに関する法規制への対応についてよく議論をしています。その中で感じるのは、業界の中で、他社の模範となるサステナビリティリーダーをめざしているということです。専門的な知見を有する従業員も多く、彼ら彼女らが全社を巻き込んで、強いコミットメントをもって課題の解決に取り組んでいることが、当社の強みです。私もグローバルのリーディングカンパニーになるために何が必要なのかを、引き続き多様な観点から助言、提言していきます。



社外取締役

キャシー 松井

(コール キャシー ミツコ)

2021年11月、(株)ファーストリテイリング社外取締役に就任。ゴールドマン・サックス証券(株)でパートナー、副会長を歴任。1999年に「ウーマノミクス」を提唱。2021年5月MPower Partners Fund L.P.を設立。

取締役会

取締役の過半数を社外取締役とすることで、代表取締役と執行役員の業務執行を監督する機能を強化しています。社外取締役は、グローバル企業のトップを担ってきた方や、M&A、財務経営、D&I、ESG分野の専門性が高い方など、幅広い人材で構成されています。そのため、経営の重要な意思決定には、客観的な意見が反映されます。2024年8月期に開催された取締役会では、年度予算や決算内容の承認をはじめ、資金の計画や運用方針などについて討議しました。取締役会は、2024年8月期には13回開催され、取締役の出席率は100%でした。取締役会の実効性向上のため、各取締役と監査役に対して毎年行っているアンケートでは、取締役への情報提供のタイミングや方法、各種委員会での議論と取締役会の連携のさらなる強化などが課題として認識されました。回答結果は、取締役と監査役に共有され、指摘事項への改善策を検討しています。

監査役会

監査役会は社外監査役3名を含む5名で構成されており、常勤監査役が議長を務め、高い独立性と情報収集力を備えています。社外監査役は、弁護士や公認会計士としての豊富な知識と経験を有します。監査役は、取締役会に出席し、取締役会の意思決定の状況、監督義務の履行状況を監視し、検証しています。また、取締役、執行役員、従業員、子会社の監査役からの定期的な聴取などを通じ、取締役の業務執行を監査します。2024年8月期の監査役会では、監査方針や計画策定、会計監査人からの説明・報告に対する討議、内部通報制度の有効性などを討議しました。

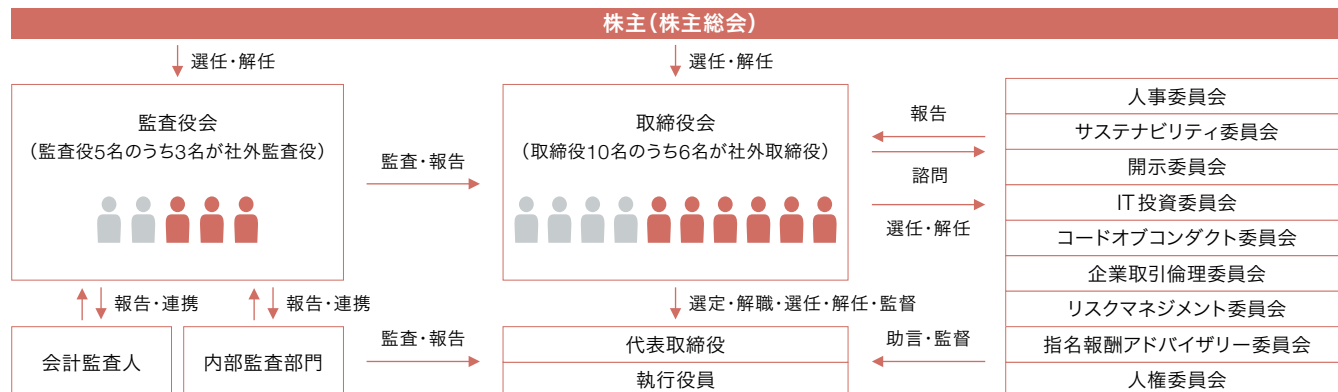
コーポレート
ガバナンスの
詳細はこちら



各委員会の
詳細はこちら



コーポレートガバナンス体制 (2024年11月29日現在)



各委員会の構成 (2024年11月29日現在)

●=委員

		人事委員会	サステナビリティ委員会	開示委員会	IT投資委員会	コードオブコンダクト委員会	企業取引倫理委員会	リスクマネジメント委員会	指名報酬アドバイザー委員会	人権委員会
社内取締役	柳井 正	委員長	●	●	委員長				●	
	岡崎 健	オブザーバー	●	委員長	●			委員長		●
	柳井 一海		●							
	柳井 康治		委員長							
社外取締役	服部 暢達							●	●	
	新宅 正明	●			オブザーバー				委員長	
	大野 直竹								●	
	キャシー 松井		●						●	●
	車戸 城二								●	
常勤監査役	京谷 裕	●							●	
	水澤 真澄	●	●	オブザーバー		●		オブザーバー		●
	田中 智大		●	オブザーバー	オブザーバー		●	オブザーバー		
社外監査役	金子 圭子	●				●				●
	樫谷 隆夫						●		●	
	森 正勝							オブザーバー		
執行役員・社外有識者など		3名	7名	3名	4名	6名	8名	9名	0名	8名

注：企業取引倫理委員会の委員長はサステナビリティ部門の責任者が、コードオブコンダクト委員会の委員長は法務部門の責任者が、人権委員会の委員長は社外有識者が、それぞれ務めています。社外取締役および監査役からは、それぞれの知見に基づく意見を頂いています。

取締役からのメッセージ



やな い ただし
柳井 正

グローバル企業としての社会的責任を果たし、
より良い企業として成長していきます

経済には国境がなく、グローバル企業には大きな社会的責任が求められます。我々はグローバルでのさらなる事業成長をめざすと同時に、服のビジネスを通して、世界をより良い方向へ変えていくことが使命だと考えています。「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」という企業理念のもと、LifeWearを通し、服を着る幸せや喜びを、世界中の人々にお届けしていきます。

1984年9月、当社代表取締役社長に就任。2005年9月より当社代表取締役会長兼社長（現任）。主な兼職は、(株)ユニクロ代表取締役会長、(株)ジーユー取締役会長、(株)リンク・セオリー・ジャパン取締役、日本ベンチャーキャピタル(株)社外取締役



はっとり のぶみち
服部 暢達

社外取締役

独立役員

グローバルでのリスク管理をしっかりと行い、
株主価値の増大につながる方策を助言します

ファーストリテイリングは、将来に向けてより高い成長を期待されている企業です。その期待に応え続けるために、グローバルでのリスク管理をしっかりと行い、幅広い視野からのアドバイスを心掛けています。これからも、資本市場の代表という視点で、資本市場から見た当社の企業価値を客観的に判断し、株主価値の増大につながるベストな方策を助言していきます。

2005年11月、当社社外取締役に就任。米国ゴールドマン・サックスを経て、現在は、M&A、企業価値評価などを専門に研究。早稲田大学大学院経営管理研究科客員教授、(株)博報堂DYホールディングス社外取締役、慶應義塾大学大学院経営管理研究科客員教授、(株)アインホールディングス社外取締役



しんたく まさあき
新宅 正明

社外取締役

独立役員

次のステージへの進化をめざし、
情報製造小売業への変革をさらに推進します

IT分野への効率的な投資によって情報製造小売業への変革が進み、分析したデータを知恵に変えていく動きが社内では加速しています。社会的にも、ITを成功させている企業だという認識が定着しつつあります。また、IT人材の厚みが増したことで、次のステージをめざせる体制が整いつつあります。社外取締役として、こうした進化を引き続き後押ししていきます。

2009年11月、当社社外取締役に就任。米国オラクル・コーポレーション上級副社長、日本オラクル(株)代表取締役会長を歴任。現在は、(株)NTTドコモ社外取締役、NTTコミュニケーションズ(株)社外取締役、順天堂大学医学部附属順天堂医院外部監査委員



おの なおたけ

大野 直竹

社外取締役

独立役員

現場で得た気づきを大切にし、 より良い企業になるために提言します

取締役会は多様なバックボーンの方が揃い、バランスが取れています。活発な意見が交わされており、柳井氏もしっかりと耳を傾けてくれています。経営トップを務めていた時から「現場が一番大切」という考えは変わりません。一人の消費者として店舗を訪れ、現場の声をさりげなく聞き、お客様体験を積むことで得た気づきを、経営に活かせるように提言していきます。

2018年11月、当社社外取締役に就任。大和ハウス工業(株)において取締役、専務取締役、代表取締役副社長 営業本部長、代表取締役社長、特別顧問を歴任。現在は、公益財団法人野村マネジメント・スクール 非常勤理事、浅井謙建築研究所(株)特別顧問、ペイシャンスキャピタルグループ(株)特別顧問



まつい

キャシー 松井(コール キャシー ミツコ)

社外取締役

独立役員

成長ドライバーである多様性を推進し、 さらなる事業拡大に貢献します

ファーストリテイリングは、グローバル化を加速していくステージに入りました。多様なバックグラウンドをもつ従業員が活躍することで、より大きな成長の可能性があります。女性かつ外国籍の社外取締役として、そうした可能性を広げていくための助言をすることが私の使命だと感じています。証券会社での経験も活かし、資本市場の視点、ガバナンスの視点も重視しながら、さらなる成長に貢献していきます。

2021年11月、当社社外取締役に就任。ゴールドマン・サックス証券(株)においてパートナー、副会長を歴任。現在は、一般財団法人ファーストリテイリング財団評議員、MPower Partners Fund L.P. ゼネラルパートナー



くるまど じょうじ

車戸 城二

社外取締役

独立役員

未来社会のあるべき姿を見据えた提案と、 イノベーション推進のためのサポートを担います

未来基準の持続可能な次世代店舗を推進していくために、建築に関わってきた知見と経験から、より良い提案やアドバイスを行っていきます。未来の社会の姿を思い描き、そのシナリオの上で、利益とサステナビリティのバランスを取りながら、今やるべきことを的確に進めていく。このような当社のイノベーションを、社外取締役の一人としてサポートしていきたいと考えています。

2022年11月、当社社外取締役に就任。1982年1月、一級建築士登録。(株)竹中工務店において設計本部長、設計担当執行役員、常務執行役員、顧問を歴任。現在は、早稲田大学創造理工学部建築学科 非常勤講師、パシフィックセンチュリーホテル(株)エグゼクティブアドバイザー

取締役からのメッセージ



きょうや ゆたか

京谷 裕

社外取締役

独立役員

新しいチャレンジとリスク管理のバランスを
重視しながら、企業価値の向上に貢献します

長く携わってきた食料・食品関係の仕事は、生活必需品という点でLifeWearに通じます。米国やアジア地域での駐在経験があり、国内外で得た経営者としての経験や知見は、社外取締役としても活かせると考えています。多様化するグローバルなリスクへの対応と、新しいチャレンジとのバランスを大事にしながら、中長期的な視野で、企業価値の向上に貢献していきます。

2022年11月、当社社外取締役に就任。(株)ローソン取締役、三菱商事(株)において農水産本部長、常務執行役員コンシューマー産業グループCEOを歴任。現在は、三菱食品(株)代表取締役社長兼CSO



おかざき たけし

岡崎 健

LifeWearへの共感が、世界中に広がっています。その期待に応え、持続的に需要を創造するために、グローバル情報製造小売業としての組織能力を高めます。人材、R&D、IT、出店、サプライチェーン、サステナビリティ、ブランディングなどへの積極投資とローコスト経営を両立させ、高ROEの維持と持続的な高成長に挑戦し、企業価値を高め続けます。

2018年11月、当社取締役に就任。(株)日本長期信用銀行を経て、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社、同社パートナーの後、2011年8月当社に入社。主な兼職は、(株)ユニクロ取締役、(株)ジーユー取締役、(株)プラス代表取締役、当社グループ上席執行役員兼CFO



やない かずみ

柳井 一海

事業を通じて世の中を良くしたいと本気で考えているのが、ファーストリテイリングです。そのためにはグローバルな人材やリソースを結集し、会社をより強くしていく必要があります。そして、あらゆる企業活動において「真・善・美」を大切に、世界で一番良いやり方を追求しながら、各事業を成長させます。創業家の者として、取締役として、責務を全うします。

2018年11月、当社取締役に就任。ゴールドマン・サックス証券(株)、Theory LLCを経て、2009年9月当社に入社。主な兼職は、Theory LLC Chairman、UNIQLO USA LLC Chairman、(株)リンク・セオリー・ジャパン代表取締役会長兼社長兼CEO、当社グループ上席執行役員



やない こうじ

柳井 康治

近年、あらゆる産業・業界の垣根がなくなりつつあり、市場環境の複雑さが増しています。このような時代のなか、社会の公器としての企業のあるべき姿を追求していくことが、ますます必要だと感じています。取締役として、環境の変化とお客様のニーズを的確に捉え、実業を通じて継続的な事業の成長と社会的責任を果たしていきたいと思います。

2018年11月、当社取締役に就任。三菱商事(株)、三菱商事 在英 食品事業子会社 Princes Limited 出向を経て、2012年9月当社に入社、当社グループ上席執行役員

監査役



かね こ けい こ
金子 圭子

社外監査役 独立役員

グローバルに事業を展開する企業は、想定外の問題に直面することが多々あります。社外監査役として、企業の成長を支える機能を果たすと同時に、リスクを回避できる複眼的な視点を提供することが重要だと思います。これからも公正かつ客観的な立場から、しっかりとした体制固めに尽力していく考えです。

2012年11月、当社社外監査役に就任。弁護士。アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業パートナー、(株)ユニクロ監査役、(株)朝日新聞社社外監査役、(株)ダイフク社外取締役



かしたに たか お
榎谷 隆夫

社外監査役 独立役員

柳井氏は、厳しい意見にこそ耳を傾けてくれるので、取締役も監査役も自由に発言し、常に闊達な議論が行われています。30年以上にわたる企業再生コンサルタントとしての経験、会計士、税理士としての助言も含め、社外監査役の枠に捉われることなく、幅広い分野について忌憚のない意見や提言をしていきます。

2018年11月、当社社外監査役に就任。榎谷公認会計士事務所所長、(株)ブレイン・コア代表取締役社長、(株)エフ・ピーブレイン代表取締役社長、日本貨物鉄道(株)社外取締役



もり まさかつ
森 正勝

社外監査役 独立役員

適切なプロセスで意思決定がなされているか、事業計画を妨げるリスクはないか、内部統制が確立できているかをしっかり見ていくのが、監査役の使命です。グローバル企業の経営など、これまでの経験を活かし、世界市場で急拡大しているファーストリテイリングが持続的に成長していけるよう、貢献していきます。

2020年11月、当社社外監査役に就任。学校法人国際大学特別顧問、スタンレー電気(株)社外取締役、キリンホールディングス(株)社外取締役



みずさわ ますみ
水澤 真澄

常勤監査役

2019年11月、当社常勤監査役に就任。2001年10月当社入社。グローバル計画管理部IRチーム部長を歴任。(株)リンク・セオリー・ジャパン監査役



た なか とひろ
田中 智大

常勤監査役

2023年11月、当社常勤監査役に就任。2018年7月当社入社、グローバル計画管理部連結経理チームリーダー、台湾優衣庫有限公司CFOを歴任。迅銷(中国)商貿有限公司監司ほか子会社4社監事、FR健康保険組合監事